



大雨災害から1年

日高地区で防災講演会

9月20日、日高町民センターで防災講演会が開催され、約100人が参加しました。

講演会では昨年8月の大雨災害について、「新たなステージに対応した防災・減災」をテーマに、室蘭地方气象台、室蘭建設管理部、日本放送協会室蘭放送局、日高町がそれぞれの立場から当時を振り返り講演しました。

日高町からは三輪町長が「各町内会ごとに立ち上げた自主防災組織の防災訓練など、普段から災害に備えることが重要。」と話しました。



スポーツフェスティバル「ナイター野球大会」

富川南西が強豪に勝利し優勝

9月19日から26日にかけて、スポーツフェスティバルのナイター野球大会が町営富川球場で開催されました。

本大会は5チームによるトーナメント戦により行われ、秋空の下ハツラツとしたプレーが披露されました。

決勝戦は「おちゃっぴ〜ず」と「富川南西」の対戦となり、両者取って取られての展開で進み、結果は富川南西が6-3で勝利し、昨年のスポーツフェスティバルから負けなしのおちゃっぴ〜ずの連勝がストップしました。



地震の時は…「ダック！！」 ～カードにあわせてポーズをとろう！～

9月20日、22日、それぞれ門別わかば保育所、富川ひばり幼稚園で富川消防署と日高消防団の女性消防団員7名による、幼児向け防火・防災カードゲーム「ぼうさいダック」を実施しました。

「ぼうさいダック」は、子供たちが体を動かし声をだして、遊びながら防災や挨拶などについて学び、安心・安全の「最初の一步(ファーストムーブ)」を身につけるゲームです。

今年から新たに「煙体験」を実施し、住宅の部屋に模した透明なテントの中に無害な煙を充満させて、火災時の煙の広がり方や危険性などを実際に見て体験しながら学びました。

子供たちは普段あまり見ることのない煙に興味津々な様子で、怖がりながらも「たぬきのポーズ」をとりながら煙の中を通過しました。

また、消防のマスコットキャラクターの「消太くん」と一緒に楽しくゲームに参加し、2日間とも笑顔いっぱいの日となりました。



オータムコンサート2017

札響メンバーによる木管の響き

9月24日、ひだかdeコンサート(大鷹千秋 会長)主催による「オータムコンサート2017～札響メンバーによる木管の響き～」が門別総合町民センターで開催されました。

当日は約250名が来場し、フルート、クラリネットなどの木管楽器の音色を楽しみました。

1部のフルートとピアノによるデュエットでは、童謡「ちいさい秋みつけた」や「里の秋」などの秋を感じさせる楽曲が演奏され、フルートの柔らかい音色が、会場を包み込みました。



日高町婚活パーティー

5組のカップルが成立

9月23日、門別温泉とねっこの湯で日高町婚活パーティーが開催されました。

結婚を真剣に考える方を対象に参加者を募集し、男性は町内から10名、女性は町外から10名が参加しました。

参加者同士で調理した地場産品を使った料理を囲みながらのバーベキューでは会話も弾み、今回のイベントでは5組のカップルが成立しました。



防災関係7機関

大規模林野火災を想定した合同訓練

9月27日、富川東防災広場で、大規模林野火災を想定した訓練を、日高町、日高振興局、陸上自衛隊、北海道防災航空隊、北海道警察、門別警察署、日高西部消防組合の7機関合同により行われました。

訓練は、町内で大規模な林野火災等により、複数の機関のヘリコプターを使った人命救助等を想定し、各機関との情報の共有や連携活動が円滑に行われることを目的とした訓練が行われ、三輪町長は「多くの機関が合同で訓練を行ったことにより、指揮系統の確認や今まで明確になっていなかった部分が確認でき、非常事態への対処能力が大きく前進した。」と講評しました。



門別小学校社会科見学

富川浄化センターで浄水場の役割を学ぶ

9月26日、門別小学校の4年生23名が、社会科の授業「くらしの中の水とごみ」をテーマに、富川浄化センターで見学授業が行われました。

富川浄化センターの南部明浩所長から汚水を浄化する仕組みをイラストや写真などで説明した後、実際に施設内の浄化設備を見て回り、熱心にノートに書き留め、持参したカメラで写真を撮る児童の姿が見られました。

授業を終えた児童からは、「水がきれいになる仕組みがわかった。」などの感想が聞かれました。